

大府市長 岡村 秀人 様

大府市学童保育連絡協議会

会長 鈴木 敬 升

連絡先 神田わんぱくクラブ

電 話 0562-48-7324(担当:佐藤)

## 要望書

日頃から放課後児童の生活の充実のためにご尽力頂き、ありがとうございます。

一昨年度に、民間放課後児童クラブの運営場所にかかわる相談より、大府市放課後児童健全育成事業施設整備費補助金交付要綱という形での補助を実現頂いたこと、感謝申し上げます。数年後引越しを控えたわんぱくクラブへの相談と対応検討よろしく申し上げます。

国は今後も増加が予想される放課後児童の受け皿の拡充、保育の質の確保を図り、放課後児童の健全育成がなされるよう学童保育に対する補助金交付を充実させています。私たち大府市学童保育連絡協議会は、例年のように担当課の方々と予算要望に関する懇談会と市長懇談会を開催して頂き、大府市の学童保育の未来について話し合いができる場をお願いしたいと考えています。

以下、どろんこクラブ・神田わんぱくクラブ（両クラブ）への補助金の増額や連携のあり方について検討していただき、7月上旬ごろ担当課懇談会を設けてくださるようお願いいたします。

### 記

(1) 学童保育支援員の処遇改善に向けて、国の補助事業として支援員の処遇改善に関するものは引き続き予算化をお願いいたします。

- ・「放課後児童支援員等処遇改善等事業」は、放課後児童クラブにおける、常勤・非常勤職員の賃金改善に必要な経費の補助です。引き続き予算化をお願いいたします。
- ・「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」が国の補助事業において交付されていますが、増額されました。放課後児童支援員の安定的雇用のために、引き続き予算化をお願いいたします。
- ・「放課後児童健全育成事業」拡充により「常勤支援員を2名以上配置した場合の補助金基準」の創設展開および他の市町に先駆けてのご採用ありがとうございます。今後も事業・制度に変更があった際、情報共有とご採用をよろしくお願い致します。

(2) 特別な配慮を必要とする児童に対する支援員の加配について、またそれに付随した巡回アドバイザーについて、今後も相談をさせてください。

- ・前回の懇談会から、育成支援の質の向上を図るため、大府市学童保育連絡協議会では民設学童の巡回アドバイザーを試験的に試してみようと考えています。来年度以降にそれによってどんな効果が得られたかを報告させていただき、将来的に保育対策総合支援事業費補助金要綱にある放課後児童クラブへの巡回支援事業項目に対して、予算化検討をお願いします。（①定期的な民間保育現場の巡回訪問②保育の様子、子どもの様子把握③子ども、保護者、支援員からの相談対応）
- ・両クラブともに特別な配慮を必要とする児童の受け入れを行っています。特別な配慮が必要だから「民間」を選んだという世帯もあります。
- ・診断名や各種手帳を所持していない児童についても加配が必要とクラブが判断した場合には、「障害児受入推進事業」や「障害児受入強化推進事業」の申請の相談を今後もさせてください。

(3) 「放課後児童クラブ育成支援体制強化事業」申請を、今後も相談させてください。

- ・本事業は、遊び及び生活の場の消毒・清掃、おやつ発注・購入、会計事務等の運営に関わる業務、児童の宿題等の学習活動が自主的に行える環境整備の補助等、育成支援の周辺業務を行う職員の配置のための事業です。
- ・昨年度、おやつ発注購入→給食調理員へ補助が使えるかの確認とご対応ありがとうございました。

(4) 民間学童の運営場所（施設整備・移転・賃借料）に関わる補助金申請の相談をさせてください。

- ・どろんこクラブの引っ越し先が決まり、資金面での援助をいただけたことから短期的な運営継続の危機を脱することができました。しかし近隣住民から階段の昇る音、玄関から話が聞こえるといった苦情が最近来ました。遊び及び生活の場に音は出してしまうというところで、子どもたちに自由にいっぱい遊ばせてあげられない状況を何とかしたく、施設整備に関するところでも予算化出来ないかの検討をお願いします。（県では新設にしか補助が出されていないと県連協から情報あり）

(5) 所得の少ない世帯や多子世帯の保育料減免実施に対する補助の情報を民設学童と共有して頂いて、負担が限りなく少なくなるよう、また家庭環境や境遇が子どもの選択の自由を奪わないようにこれからもご相談させてください。想いとしては、子どもが行きたい学童へ行けるような仕組みを作りたいです。

- ・現在、どろんこクラブ…ひとり親世帯の保育料半額減免、

## 多子世帯 2 人目 25%減免、3 人目 33%減免

わんぱくクラブ・・・4 人目から保育料半額減免、ひとり親家庭 1,000 円減免

- ・学童保育を必要としている家庭が入所できるように両クラブとも努力しています。放課後クラブでは、就学援助費受給世帯は全額免除されていますので、民間学童においても、就学援助費受給世帯については、同等の金額（月額 5,000 円）の補助の予算化をお願いいたします。

### 予算受け取りの方法例

生活保護世帯、就学援助費受給世帯などが、民間学童を通さず補助金を直接申請して受け取るなど。

以上